

32. 大串・鳥加の鉱物

地域 西彼杵郡西彼町鳥加川流域
交通 長崎バス 西彼内海線，鳥加下車
地形図 板浦（1/25,000）

この地域は長崎県の代表的鉱物である正八面体の磁鉄鉱の美しい結晶をはじめ，西彼杵型滑石鉱床にともなう多種の鉱物が採集できる。結晶片岩と蛇紋岩の間には次のような変質帯が帯状に分布する。（内田・牟田：西彼杵型滑石鉱床）

1帯：蛇紋岩， 2帯：炭酸塩鉱物・滑石蛇紋岩帯（20cm），
3帯：滑石帯（5cm）， 4帯：滑石・緑泥石帯（4cm）
5帯：細粒緑泥石帯（2cm）， 6帯：粗粒鱗片状緑泥石帯（30cm）
（ ）内は脈幅である。

次にこのルートでみられる①～⑦の鉱物採集地について述べよう。

- ① 細粒鱗片状滑石中の粗晶陽起石（光線石）。底面2～3mm，長さ30～40mmの緑色菱柱状結晶。^{わん}彎曲・分枝状を示す。
- ② 灰白色滑石に接して産する淡緑色葉片状滑石。30mmに達する。稀に扁平塊状のチタン鉄鉱を含む。（図2）
- ③ 滑石帯に接する細粒～粗粒の緑泥石。濃緑青色雲母状のみごとな結晶の集合体。脈幅30cmにおよぶ。路上には，緑泥石に含まれていた数mm大の武石（黄鉄鉱後の褐鉄鉱）が散在する。
- ④ 石墨石英絹雲母片岩の露頭。片理面の走向N16°E，傾斜70°E。この付近より路面に石英の細片多くなる。
- ⑤ 磁鉄鉱の結晶。普通10mm以下。8個の正三角形の面よりなる等軸晶系八面体。面の光輝の強いもの，赤褐色のもの，また，稜がことごとく丸味を帯び，球状を呈するものなどがある。蛇紋岩に

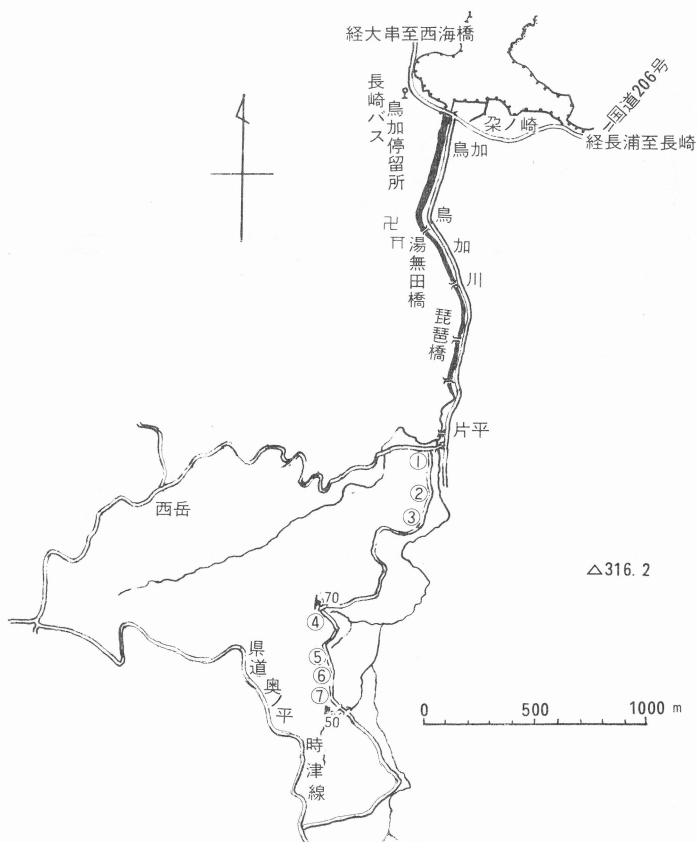


図1 西彼町鳥加付近鉱物採集ルート

接する緑泥石化帯及びその赤褐色粘土層より産し、雨水により流出したものが道路上に散在する。磁性強。この露頭の滑石中にはチタン鉄鉱の変斑晶を含む。概して扁平塊状。磁性無し。鋼灰色金属光沢、光輝有り。③と共に、西彼杵型滑石鉱床の典型的露頭。

⑥ 滑石・石綿化および菱苦土鉱を伴う蛇紋岩。

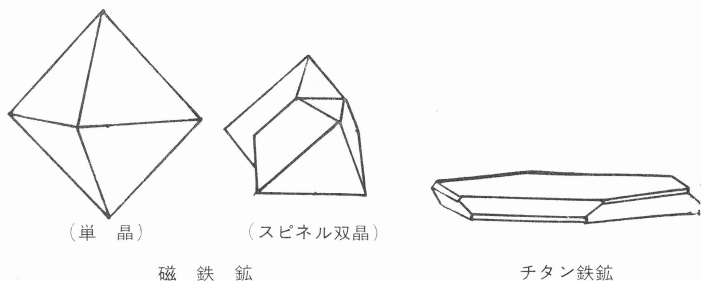


図2 鳥加の鉱物

- ⑦ 大きな分泌石英脈の露頭。石英脈は2～3 m幅のものが3本あり、石墨石英絹雲母片岩の片理に平行して南北に走り、東へ50～60°傾斜している。この種の石英脈は、珪質岩が動力変質作用を受けた地方のみに知られており、動力変質作用により原岩の珪酸が分泌されてできたものと考えられている。一般に、走向にそってくさび状を呈し、連続性に乏しく膨縮が著しい。

(荒木真寿男)